

平成24年度 事業報告

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

事業概要

本年度は、新公益法人2年目となり、シルバー人材センター理念に基づき、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進・地域社会の健全な発展」を目的とする事業運営に努めました。

国内の経済等の混迷及び国庫補助金の厳しい状況のなか、契約実績については公共部門並びに民間部門共に減少となり、対前年度比約109万円の減となりましたが、例年実績の1億5千万円台を維持することが出来ました。

平成24年度事業実績一覧表

(単位円)

		平成24年度	平成23年度	比 較
契 約 金 額	公共	119,739,530	120,239,981	△ 500,451
	民間	36,085,932	36,680,235	△ 594,303
	合計	155,825,462	156,920,216	△ 1,094,754
受 託 件 数	公共	575	581	△ 6
	民間	634	625	9
	合計	1,209	1,206	3
就業延実人員	公共	3,130	3,160	△ 30
	民間	1,960	2,000	△ 40
	合計	5,090	5,160	△ 70
就業延日人員	公共	20,285	20,539	△ 254
	民間	6,489	6,672	△ 183
	合計	26,774	27,211	△ 437
配 分 金	公共	104,799,183	103,632,722	1,166,461
	民間	31,018,530	32,111,081	△ 1,092,551
	合計	135,817,713	135,743,803	73,910
材 料 費	公共	5,368,919	6,967,353	△ 1,598,434
	民間	2,307,059	1,801,876	505,183
	合計	7,675,978	8,769,229	△ 1,093,251
事 務 費	公共	9,571,428	9,639,906	△ 68,478
	民間	2,760,343	2,767,278	△ 6,935
	合計	12,331,771	12,407,184	△ 75,413

事業報告

1. 就業開拓提供事業

- (1) 国・東京都及び大島町・関係諸団体に対して、日常的に連携を深め理解と協力が得られました。

民間部門の会社・商店等に対する役職員の計画的な訪問活動は思うように出来ませんでした。ホームページのリニューアル・シルバーニュース・パンフレット等の活用により、受託件数の微増に繋がりました。

- (2) 受託件数横ばいのなかで、目標である就労率 75%以上（年間実就労者÷正会員数）を3ポイント下回る結果となりました。

この事の大きな要因は、適正な就業を目指す事による民間企業からの受注減であります。今後においても、法令遵守を図り、地域の信頼を得るよう努力します。

- (3) 独自事業の新企画並びにあしたば佃煮の事業については、事業委員会において検討をしましたが、成果を得るまでには至りませんでした。

2. 普及啓発事業

- (1) シルバー事業を広くPRするための広報紙「シルバーニュース」の発行で、事業内容を中心に[こんな仕事出来ますよ]を掲載し、就業場所の開拓に繋げる努力と共に、パンフレットを作成し配布する事による一層の開拓を図りました。

- (2) 会員増強も[シルバーで一緒に働きませんか]と60歳以上の島内高齢者に、広報紙・パンフレット等で呼びかける事により、20名の入会が実現しました。

- (3) 社会奉仕活動については、大島町や各種団体の主催した夏まつり・福祉まつり等のイベント会場で協力し、PR品等配付しました。

また、大島町が新たに起ち上げた高齢者見守り事業に、当センターも参画するとともに、夏まつり会場清掃及び福祉まつり湯茶接待等のボランティア活動に協力しました。

- (4) 当センター主催事業「手作り作品展」及び「ゲートボール大会」により、地域への貢献事業として評価を得る事が出来、PRによって就業拡大・会員増強を図る事が出来ました。

3. 研修・講習事業

- (1) 東京しごと財団・第2ブロック主催の各種研修会に役職員が受講し、報告する事により、目標である情報の共有化を図り、安全就業・適正な就業に努めるよう検討を重ねました。
- (2) 予てより、会員の皆様から要望のあったハウスクリーニングの自主講習会を会員20名の参加のもと、開催出来た事により就業支援が図れました。

4. 調査研究事業

- (1) 関係法令及び定款等を遵守し、適正な就業・請負契約の推進を図り、安全な就業活動を心掛けました。
また、理事会・各委員会・事務局職員の連携により、事業運営の強化を図る事が出来ました。
- (2) 「中・長期計画」策定の準備を引続き行いました。

5. 相談事業

- (1) 就労及び入会相談窓口は事務局応接コーナーでは毎日、当センター主催事業会場や大島町及び関係団体等のイベント会場でも随時設けました。
- (2) 会員増強を図るなかで、20名の方が新入会員となり、希望する仕事に沿った会員18名がグループ就業をしています。

6. 安全就業推進事業

- (1) 日常的なミーティング及び就労前打合せ等で、作業手順の確認と事務局事業班の就業場所パトロールで、安全チェックを心掛けながら、日常的に安全就業の徹底を図る事により、重大事故の発生を防ぐ事が出来ました。
- (2) 昨年に引続き、安全管理委員会の機能強化を図りました。
委員会を年3回開催し、就労現場の厳しい実態の情報交換と今後の対応の協議を重ね、懸案だった、平成25年度の安全管理活動計画を策定する事が出来ました。